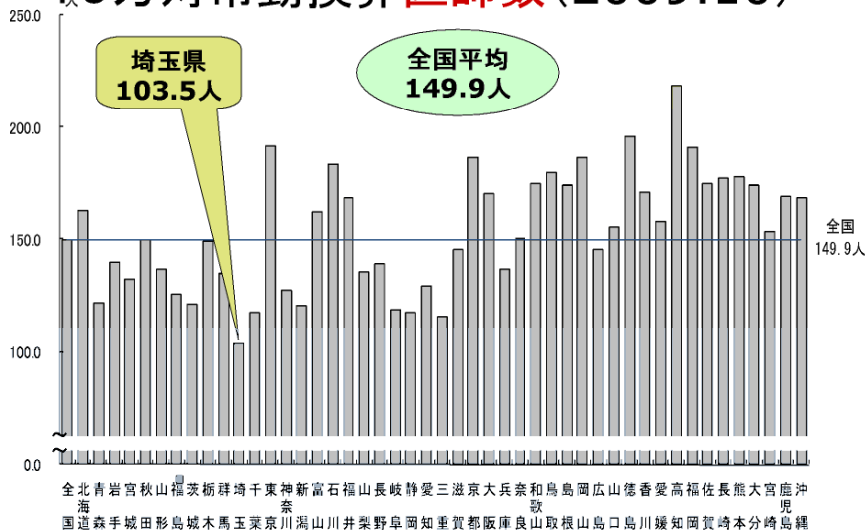
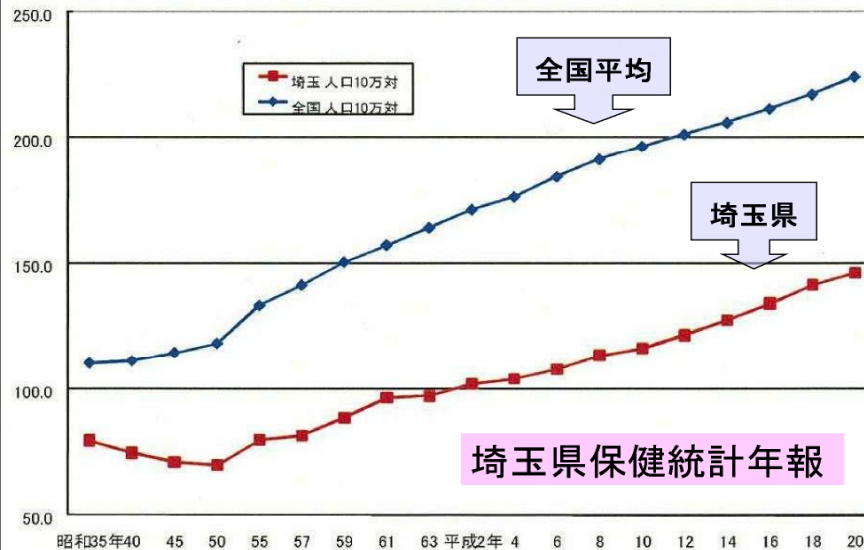


都道府県別にみた病院における人口1.0万対常勤換算医師数(2009.10)



開業医などを除く、病院に勤務する医師数で比較しても埼玉県は全国平均を下回り、全国最低の状況です。最も多い高知県や東京都と比較すると約2倍の格差があります。

図-1 人口10万対医師数の年次推移(従業地)



「県の面積で比較すれば、全国上位の医師数」と発言する方もいますが、国の統計では住民の人口で比較した統計が発表されています。埼玉県の医師は全国平均(220人/人口10万人)を大きく下回っています。その全国平均医師数でさえ、OECD諸国平均の300人に遠く及びません。

埼玉県の入院ベッド 全国での位置

病床数(都道府県別)

病院	順位	精神病床	順位	療養病床	順位	一般病床	順位	
全国	1,609,403	349,321		339,358		909,437		
埼玉	62,986	8	14,523	5	13,423	7	34,787	8

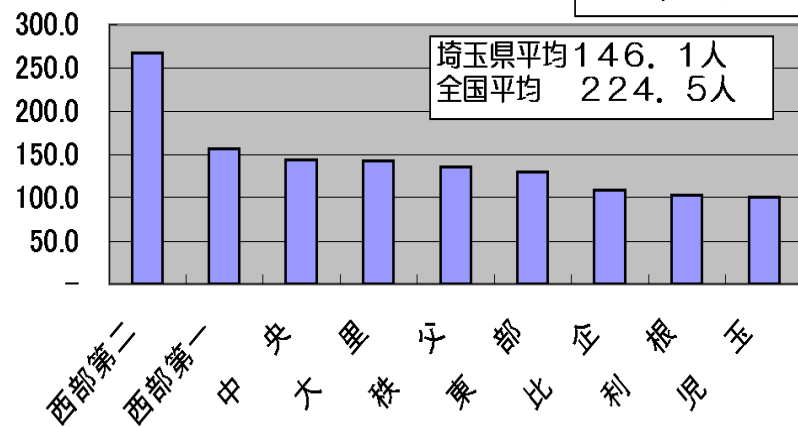
★人口10万対病床数(都道府県別)

病院	順位	精神病床	順位	療養病床	順位	一般病床	順位	
全国	1,260.4	273.6		265.8		712.2		
埼玉	885.5	46	204.2	41	188.7	39	489.1	47

医療提供体制の遅れは、医師数や看護師数だけでなく、病床数でも顕著です。一般病床数が全国平均を大きく下回る489床しかなく、全国最低です。しかし「東京都内の病院を利用する県民が多い」「深刻とは言い切れない」と説明する方がいます。このままで良いのでしょうか。

第2次医療圏ごとの10万人対比医師数

2008年12月31日



県内の医師数には2倍以上の地域間格差があります。一番多い医師数の西部第2医療圏(医科大学がある毛呂山町など)の地域だけが全国平均を超えている状況です。